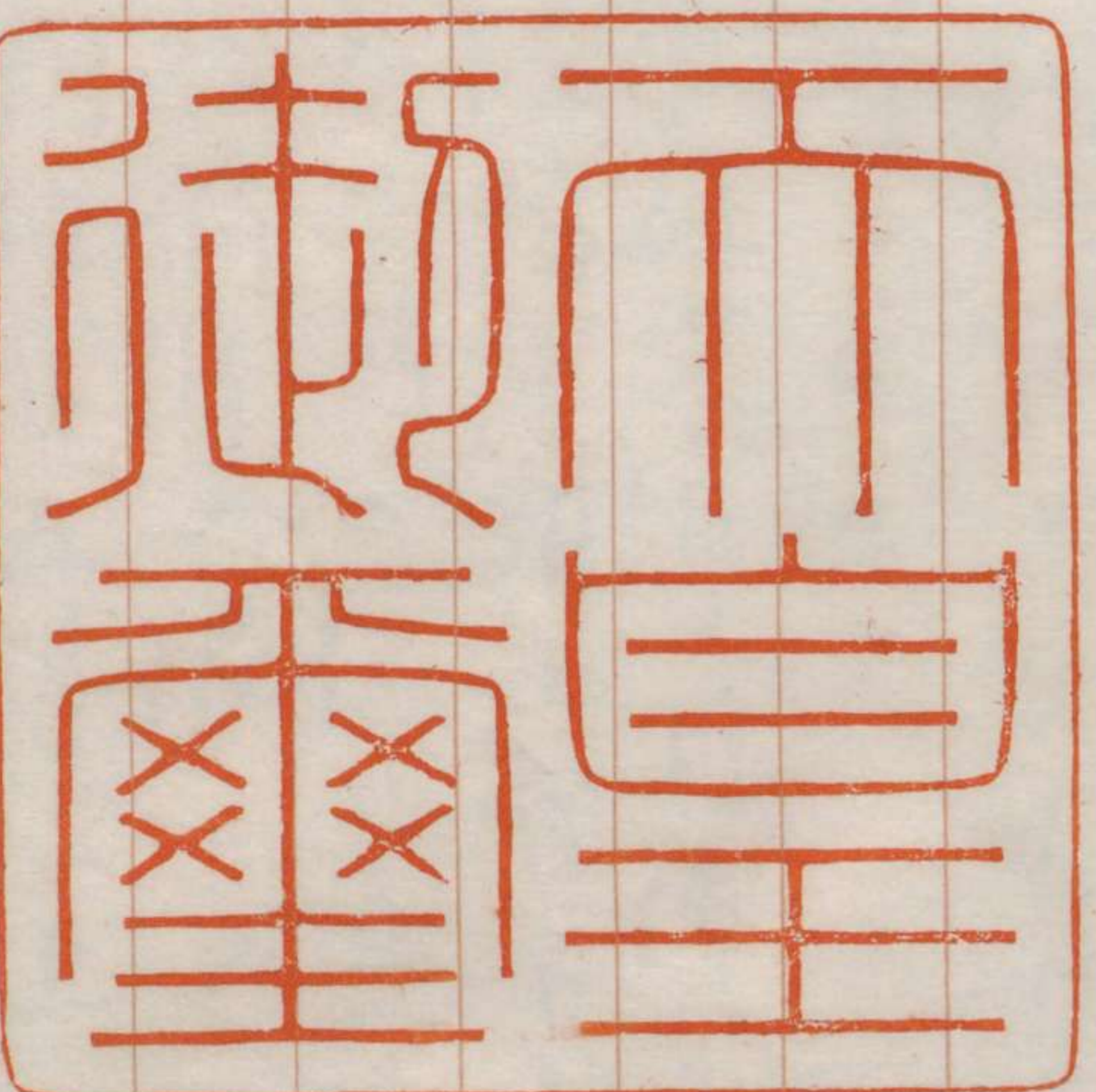


勅
第
三
十
六
号



朕茲ニ判任官官等俸給令ヲ裁
可ス

睦
仁



明治十九年四月二十九日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文

勅令第三十六號

判任官官等俸給令

第一條 判任官ヲ分テ十等トシ一等ヨリ十等ニ至ル

第二條 判任文官ノ月俸ハ別表ニ依ル

第三條 陸海軍准士官下士ノ月俸ハ

従前定ムル所ニ依ル其他特ニ定ムルモノハ前條ノ限ニアラス

第四條 判任官五等以上ハ每等在職四年六等以下ハ每等在職三年ヲ踰

ユルニアラサレハ昇等スルコトヲ
得ス

第五條 每等ニ定員ヲ限リ缺員アル
ニアラサレハ定期ヲ踰ユルト雖モ
昇等スルコトヲ得ス

第六條 判任官一等ニシテ上級俸ヲ
受ケ三年ヲ踰ヘタル者勞績拔群顯
著ナルモノハ特別ヲ以テ別表ノ範
圍ニ拘ハラヌ漸次百圓マテ増俸ス
ルコトアルヘシ

第七條 官ニ
シタル者ハ

月俸三箇月分
族ニ給ス其非

職者ニ於テモ亦同シ

第八條 本令中俸給細則ハ大藏大臣
其省令ヲ以テ之ヲ定ム



ユルニアラサレハ昇等スルコトヲ
得ス

第五條 每等ニ定員アリ缺員アル

ニアラサレハ定期ニ踰ユルト雖モ

昇等スルコトヲ得ス

第六條 判任官一等シテ上級俸ヲ

受ケ三年ヲ踰ヘク者勞績拔群顯

著ナルモノハ侍ヲ以テ別表ノ範

圍ニ拘ハラ

ルコトアリ



第七條 官ニ在リテ死亡シタル者ハ

月俸三箇月分ヲ其遺族ニ給ス其非

職者ニ於テモ亦同シ

第八條 本令中俸給細則ハ大藏大臣

其省令ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

